



東京都立練馬高校 同窓会会報

いちょう 銀杏の朋

銀杏の朋 第5号

1998年9月1日発行

発行：東京都立練馬高等学校同窓会事務局

〒179-0074 練馬区春日町4-28-25

TEL 03-3990-8643

編集：銀杏会会報委員会



'98年度同窓会総会(&懇親会)のご案内

'98年度同窓会総会を下記のとおりおこないます。
総会での意見交換、執行部への質問等はもちろん
また、クラス会、同期会等にもお役立て下さい。

☆ブラスバンドOB会の演奏あり。

日時：1998年11月7日(土) PM2:00～

※総会(1時間程度)が終わり次第懇親会を始めます。

場所：都立練馬高校会議室

会費：2,000円

議題：1998年度活動報告および1999年度活動方針

1997年度決算および1999年度予算の承認

案内図



リトル・バイ・リトル

同窓会会長 伊藤 久雄

新秋の候、会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申しあげます。また日頃は本会の活動に對しましてご理解・ご協力を賜りまして、まことに有難うございます。

お陰様をもちまして、ここに「銀杏の朋」第5号をお配りすることができました。以下に昨年度の「銀杏会」活動内容を報告したいと思います。

第一に97年11月8日(土)に母校・大会議室にて総会を開きました。総会は終始和やか、かつ楽しい雰囲気で行われ、お世話になった先生方2名・正会員21名の参加を得ることが出来ました。今回からはアトラクションとしてブラスバンド部OB・OGによる大変すばらしい演奏に接することが出来ました。(本校ブラスバンド部の演奏水準は高く、卒業後も多くの方が音楽の分野で活躍しておられます。お忙しい中、演奏して下さったOB・OGの皆様、ご苦勞様でした。執行部としてはこの演奏を恒例化したいと考えていますので、これからもよろしく願っています。

総会では96年度決算報告・98年度予算案・(新役員・理事)の承認・98年度活動方針が賛成多数で可決されました。(新役員・理事)・98年度活動方針はそれぞれ以下のとおりです。新たに若い3名を理事として迎え入れることが出来ました。

【新役員・理事】

名誉会長 近藤 淳一(母校校長)
会長 伊藤 久雄(77年卒)

副会長	加藤 佳美	(79年卒)
会計	矢野 正弘	(77年卒)
書記	川島英無礼	(93年卒)
理事	川島恵美子	(68年卒)
理事	小菅 英明	(73年卒)
理事	三浦 喜雄	(75年卒)
理事	小沢 直彦	(75年卒)
理事	山本 圭一	(94年卒)
理事	上石 和美	(94年卒)
理事	大沼 治男	(96年卒)
理事	米山あゆみ	(96年卒)
理事	近藤 邦夫	(73年卒)
会計監査		

【98年度活動方針】

- ① 会報発行を柱として、引き続き会員相互の理解・親睦に努める。
- ② 99年度中に総合会員名簿を発刊できるように着実に準備を進めてゆく。
- ③ 会報発行により確実に減少してゆく財源を維持する具体案を考える。

【財源問題について】

前回の会報でも触れましたが、銀杏会の財源をどのように確保してゆくかは頭の痛い問題です。

本会の収入は卒業時にいただく入会費(三千六百元)と善意の寄付金だけでなっています。(入会費は97年3月卒業生までは千八百円でした。現在の会計残高は約七百万円ありますが、毎年、会報の印刷・郵送に百三十万円、周年行事用の積立金三十万円、計百六十万円支出が見込まれ、収入は入会金十寄付金九十九万円です。で、九十万円一百六十万円七十七万円の赤字が出ております。このままのペースでゆくと、十年後にはお金はなくなり、会報の発行が

不可能になるということです。

会報は同窓会活動の命です。私は発行の中断・廃止はあってはならないと考えています。そこで会長私案として以下のように提案します。

「会報は卒業後十五年間は全員に無償で郵送する。ただし、十六年目以降は希望者に対し、有償で郵送する。その際の費用は実費とする。以上は第三十二回生(九十八年三月卒)より適用する。」

「第一回生から第三十一回生までは会報第7号までを無償で送付する。第8号からは希望者に対し、有償で発送する。その際の費用は実費とする。」

来る総会で以上の私案に対し活発なご意見がいただければ幸いです。来年度中にはこの問題にメドをつけたいと考えています。



学校改革と

練馬高校

校長 近藤 淳一

都立高校の学校改革について言われはじめて久しい。東京都は昨年九月に今後十年間の統合・改編の長期計画と、第一次の実施計画を発表しました。三学区は、永福高校と桜水商業を統合し杉並地区総合学科高校とし、平成十六年に開校予定です。

本校は他の都立高校にさきがけ、平成六年度より教育課程の内容を大幅選択制に変更しました。当時は、他校で実施していない特色のある教育課程で、学校改革に先鞭をつけました。他県の学校から教育内容についての学校訪問をうけたり、資料をいただきたいとの話があります。

一人一人の興味・関心が生かせ、適性を伸ばすことのできる教育課程ですが、今日、生徒の多様性が増々進んできた状況から、将来の進路希望と結びつけた内容の検討が必要だと感じています。

第二次の実施計画は平成十一年に発表される予定です。現在の教育内容を発表・充実させて、特色をより鮮明に打ち出し中学生にアピールし、学校改革に對応していきたいと思っています。

銀杏会の会員の皆様にお力をお借りすることもあるかと存じます。今後とも宜しく願います。

高校時代、私は天文部に入部していた。高校に入學した時から、天文部に入るときめていて、その通りに入部した。入部の理由は、すぐく簡単な理由、つまり学校の屋上の所にある望遠鏡を使って見たいという単純明快な理由だったそれに、あの大きな望遠鏡は天文部員じゃないと使わせてもらえない事を高校入学する前から知っていた事もあった。部活に入ってた事も、何をするわけでもなかったが、ほとんど、部活がある日は顔だけは出してたような気がする。みんなクラスが違ったのに仲良くなつて、時にはケンカもした子もいたけど、楽しかった。先輩たちもみんな優しいし、いろいろな事を教えてくれた。そういえば、合宿に行った事を思い出した。たしか、一年と三年の時だったけどそれはそれですごく楽しかった。高校の時の事を思い出すとキリがない。今は、フリーターできちんとした仕事をしていないけど、時々だが、学校の前など通って部活が行なわれているかどうか、通りがりに見ている。OBとして顔をだしてもいいのだけど、誰も知った後輩がいらないから顔を出すのが恥かしい。でも、今度は顔を出しに行こうと。

From the Teachers

思い出など

第三代校長 中園 崇

練馬高には昭和五一年から五年間お世話になった。今思えば若いころだった。私自身の思慮の足りなさを省みることも多いが、先生方の若さとエネルギー、生徒諸君の真摯な姿を思いだす。養護学校から進学されたSさんのすばらしい成長は、本人の努力はもちろんであるが、彼女を支えた学友や教職員の援助や励ましがあったからこそ実現したのであろう。そのころすでにゆきづまっていた学校群から離脱して練馬高は単独選抜校となり、練馬高の教育指導を理解してもらったため区内の中学校を自転車で訪問したり、基礎学力充実のため教育課程を改定したり、制服を再導入するなど、教職員一体となって取組んだことは忘れえない思い出となっている。

練馬高以後も私の学校に勤務したが、その中でも教職員・生徒とともに歩み、ひたすらよりよい教育と指導を創りだそうと努めることができた学校はそう多くはなかった。現在東京成徳短期大学幼児教育科長として保育者の養成にあたっている。練馬高当時のエネルギーを今一度と思いながら、授業や科運営の仕事をしている。少々残念なのは、最近練馬高出身の学生に出会えないことである。

同窓会はさまざまな面で学校を支える。同窓生の活躍は在校生を勇気づけ励ます。同窓会会員諸兄姉のご活躍を祈ること切。

修学旅行の思い出

理科 奥野 勉

「生徒が一人いないです。」と見回りの先生から報告があったのは、夜の十一時過ぎであった。今から、二十年程前、本校の修学旅行は、広島、山口、萩、津和野方面であった。丁度、山陽新幹線が開通して、大変便利になり、多くの学校がその地を修学旅行の場所として選んだ。

私達の、萩での宿泊場所は、海岸通りに沿って建つ旅館で、その旅館のすぐ裏は海であった。

その先生の話によると、ある男子の部屋の人数が一人足りないの、全部の部屋を調べてみたが見当たらないということであった。

修学旅行では、生徒を無事に両親のもとに帰すことが重要条件である。これは、大変だ。もう一度捜してみようと、先生方は手分けして調べた。しかし、いなかっただけで、旅館の外周りも調べてもなかった。やはりいなかっただけで、もう一度徹底的に調べようというところで、寝付いている生徒も起こして調べようということになった。文句を言う生徒も説得した。その結果発見された。実は、その生徒は、隣の部屋の押入の中で蒲団で包まって寝ており、外から分かりにくかったのである。

今振り返って、一番の思い出である。

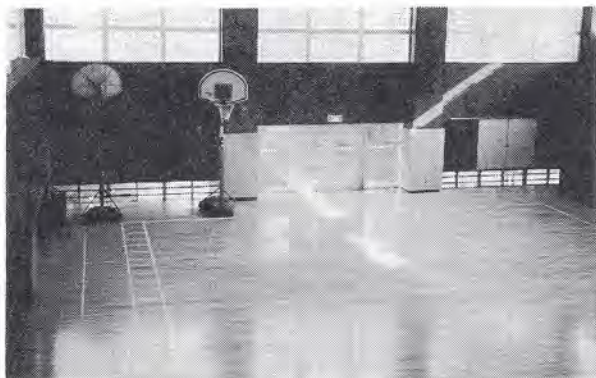
銀杏会のますますの発展をお祈りしています。

練高をはなれて

国語科 神 尚子

練高をはなれて、もう6年目になりました。存じ上げているOB、OGも数少ないのですが、小さな御縁で、ペンを執ることとなりました。

先日は、卒業生の一人の結婚式に招かれ、懐かしい顔たちと、再会しました。どの顔も逞しくなり、時の流れを感じました。作年は、クラス会が開かれ、〇〇君、〇〇ちゃん、在学時と同じ呼び方で呼びながら、申し訳ないような気がするほど、立派な青年たちになっていて、嬉しく、また頼もしく、思いました。区内在住なので、卒業生と顔を合わせる事もあり、それ



れもまた楽しみの一つです。

私ごとで恐縮ですが、私ども夫婦は、練高の教員どうしとして巡り合い、結婚いたしました。卒業生たちが集まり、私の前任校のやい卒業生たちと合同でパーティを開いてくれました。この時のアルバムは、今でも私どもの大事な宝物となっています。思い出すのは、彼らの在学時、放課後の教室での女子との語らいの中で、「神先生って顔濃過ぎるよね」と言われたことで、既に付き合っていた私は複雑な気持ちで相槌を打ったものでした。今は、娘を一人授かり、今年の十二月にはもう一人生まれる予定です。

短い在職期間でしたが、様々な出会いがありました。末筆ながら皆様のご活躍をお祈りいたします。

お便りコーナー

以下のお便りは1997年の総会出欠ハガキから拾ったものです。この他にも多数の方より心のこもったお便りを頂いておりますが、紙面の都合により掲載できないことをお許し下さい。敬称略。

(編集者一同)

▼会長さんをはじめ役員のご苦心がよくわかります。どうか公私共多忙でしょうが、母校同窓会の為頑張ってくださいね。誠に苦勞様です。

第一事務局長 石井 忠利

▼不明者リストを見てあまり多いので、驚いています。しかし、これから互いに連絡し合うようになるのではないですか。続けることですね。

保健体育科 板井 哲夫

▼定年退職後の新しい職場で元気に頑張っています。

英語科 浦野 充

▼ご案内有難う御座います。残念ながら出席できませんが、練馬高校と同窓生はいつも気がかけています。ますますの発展を期待しております。

保健体育科 高田 俊治

▼H2年3月、練馬高校を退職。その後私立に7年勤務し、今年3月退職。46年間の教師生活にピリオドを打ちました。長いようでもあり、短いようである年々で4年連立してヨーロッパを訪問。大いに見聞を広めました。今年はスコットランド、イングランドに出かけました。専門の英語を本場で生かすチャンスもありました。ダイアナ元妃の不慮の事故死とは約1ヶ月のズレがあったので、不幸の渦中に巻き込まれずに済みました。

▼また転動しました。ちょっとガタがきたみたい。な神宮寺先生に再会しました。

国語科 粒来 荒

▼同窓会報懐かしく拝見させていただきました。都立高校約24年を終え、大学に移りまして7年目を迎えています。今もキャベツ畑の中の通勤路と学校、また生徒さんの顔が目につきます。

英語科 緑川日出子

▼当日、先約があり、残念ながら欠席いたします。同窓会の組織も立派に整い、同窓会の総会も定期的に開かれていくのは素晴らしいことです。私は元気に城西大学で国文学を教えています。また、いくつかの市から頼まれ、文学講座にも出講しています。

国語科 青木 一男

▼同窓会のお世話をありがとうございます。昔の同僚の先生方のお便りを懐かしく拝見しました。私は練馬高校より江北高校を経て、江戸川高校で定年を迎え、現在は忍岡高校に嘱託で勤めております。が来年3月までです。練馬高校時代はもう30年も前のことで、鈴木満校長を始め、先生方皆さんは新しい学校を作る意欲に燃えていたのを思い出します。大変楽しい時代でした。

家庭科 児島美智子

▼一昨年入院手術し、その後が安定せず少々困っております。そういうことですので残念ながら欠席させていただきます。皆さんも体を大切にしてください。

数学科 関野 憲雄

▼ご連絡いただき有難う御座います。現在第3子の育休中ですが幼い子供3人を抱えておりますので、残念ながら出席できません。私自身は2年間しか在職しませんでした。初任校でもあり思い出深い学校です。ますますのご発展をお祈りいたしております。

英語科 三上 泉

▼伊藤会長をはじめ、役員の方々のご尽力に対し、敬意を表します。97年度より伊豆七島の三宅島にある三宅高校に赴任しました。12年間の練馬での「やりがいのあるハードワーク」が嘘のようにすっきり島の暮らしにはまってしまいました。またお会いできることを楽しみにしております。

美術科 佐藤 清親

▼会報内のお便りコーナーでは懐かし先生方に出会え、楽しく読ませていただきました。会のより一層の発展を祈念いたします。

69年卒 星名 敏則

▼懐かしく会報読みました。現在、臨床心理士として病院やクリニックで心の治療に当たっています。

72年卒 小野 京子

▼同窓会会報をお送りいただき有

難う御座いました。お世話になった大間先生がお元気そうでうれしく思いました。役員の皆様、大変だと思いますが、これからもよろしく願っています。

73年卒 後藤香代子

▼今年4月に所沢市へ引越し、やっとこの町にも慣れたところ。同窓会便りが転送されてきて、懐かしい先生の近況など書かれており、卒業してから会っていない友人の名を見てみんなどうしているのかなあと思いつつ、ぜひ同期会で永らくぶりに会いたいなあと思っております。

73年卒 河島たま江

▼卒業して20年以上。一度母校を見てみたいのですが、家の事情で実現しておりません。機会を見て行きたいと考えております。同窓会の役員方々のご努力、誠に有難うございます。微力ながら、(寄付等)応援させていただきます。

73年卒 小坂 康之

▼海外移住のため同窓会や同窓生との連絡もできずにおります。悪しからずご了承を願いたいとの連絡でした。休暇などで帰国のおりには213人の友人と例や直接お会いすることもありますが、お役に立てずもうしわけありません。

73年卒 末吉 麻美

▼毎回案内をいただいて出席できずにすみません。いろいろ同窓会運営のための苦勞、よくわかります。いつか時間が出来たときには出席できたらと思っています。

お便りコーナー

同封していただいた振込用紙で少
しですが振込みました。せめてそ
のくらいしか協力できないことを
お許し下さい。ご苦労くださって
る方々のお体ご自愛下さい。

73年卒 寺澤久美子

▼いつも銀杏の朋なつかしく拝読
させていだいております。子供
のブールの送り迎えにときおり高
校前を通り、変った姿(校舎)・変
らぬ高校生に思いをはせていま
す。寄付ももちろん結構ですが、同窓
会のために「¥1,000」カン
パというのはどうでしょうか？

73年卒 上原まゆみ

▼高校時代は山岳部に所属し、山
登り一筋の学生時代でした。大学
卒業後、サラリーマン生活を経て
専門学校に入り直し、今は治療家
をしています。

74年卒 鍋木 康一

▼会報の送付ありがとうございます。
役員の方々の献身的活動あれ
ばこそと感謝しています。同窓
会の活動資金についてですが、私
は新入会費に頼るのは申し訳な
いので、現会員からも年2000円
づつ徴収したらよいと思います。
1,000円で5年、2,000
円で10年分会費が払えたら気が楽
です。寄付金に1,000円、2,
000円出すのは少額で気恥ずか
しいですから。

74年卒 原田 緑

▼役員、理事の方々、お忙しいなか
母校卒業生の為、本当にご苦勞様
です。なつかしく拝見いたしました。

75年卒 岡部 景子

▼気取りのない本音の会報、楽し
くかつしかく拝読いたしました。
皆様、大切な時間をさいての同窓
会運営、本当にご苦勞様です。(10
期生の私としては同年代の方々の
頑張り、たのしく思っています)。

76年卒 東 あや

▼制服が出来たり、ずいぶん変っ
た練高を見てみたいような、心の
中にある頃のままだしおきたい
ような……。クラブで学校の外を
よくマラソンしたり、帰りにパン
屋さんで肉まんを食べたり、都内
のわりに自然がたくさん残ってた
学校のイメージです。

76年卒 松井 洋子

▼同窓会名簿から自分の職場に後
輩がいることが分り、話をするこ
とが出来て彼女も助かったよう
です。彼女が何期生かは忘れまし
たが、7月に子供が産れました。う
ちの職場で！

76年卒 小松 裕明

▼伊藤君と同じ軟式テニス部でし
た。5期の谷口さん、牧さん、6
期の浜さん、渡辺先生(ヨシ先生)
とは今でも連絡を取合っています
し、牧さんとはテニスもやってい
ます。今回の会報に山下さんがの
っててなつかしかったです。伊
藤君がんばってますね。高野みゆ
きとあなたが部長で私はキャプテ
ンでした。11期のテニス部男女で
会いたいものです。これからもが
んばってください。

77年卒 佐藤 裕子

▼委員の皆様のご苦勞には頭が下
がる思いです。宛名不明者リスト

の中に同級生や先輩の名を見つけ
なつかしかったり、心配になった
り……。オーイ皆さん、元気でい
るんでしょうね？

78年卒 銭谷みどり

▼朝日新聞で全日制都立校30校削
減との記事を読み、気になりました。
私が気をもんでいるにもかかわらず
ないのですが、もしものことがあ
れば心の拠り所を一つ失うような
気持ちになるでしょう。前後しまし
たが役員の方々、何時もお世話様
です。

78年卒 外 由美子

▼銀杏の朋なつかしく読ませてい
ただきました。副会長の加藤さん
は高校生の頃からおばちゃんと呼
ばれていた旧姓小山さんでしょう
か？あの頃はいろいろあつて楽し
かったよね！！ 気持はあの頃
のままなんだけど……。

79年卒 軍司真寿美

▼ここ数年、再び大学生活を3児
の子育てをしながら送っています。
図書館で調べものをして手にした
本の著者が練高時代の地理の小
林凡先生であつて、今、私が地理学
科に興味を持ち、学んでいるのも
練高時代の地理の授業のおかげ
です。小林先生はずいぶん偉くな
られたのですね。

80年卒 田口 由美

▼現在、兵庫県の丹波篠山地方に
住んでいます。来春、長男が小学
校に入学するため、学校の教育、
先生というものに改めて関心を強
く持つようになりました。練高時
代は熱くて、人間味のある先生方

が沢山おられましたね。息子にもそ
んな先生と出逢ってほしいのです。

83年卒 宮次 善美

▼委員の皆様にご感謝申し上げます。
私は今、国立国語研究所に勤めて
おりますが、好きな研究が出来る
のも練高時代があったからです。
これからもよろしく願っています。

84年卒 笹原 宏之

▼練高卒業して10年がたちました。
看護学校卒業後、大学病院に勤務、
その合間に社会人入試で國學院大
学文学部に入学、現在4年、仕事
は在宅看護のおもしろさに気づき、
それをやっています。この9/7
に結婚し、3つの役割をするハメ
になりました。(仕事・大学・家
庭)。

87年卒 和氣麻樹子

▼練馬高校卒業後、社会福祉の専
門学校、老人ホーム勤務、浪人、
鍼灸専門学校、鍼灸師と、卒業し
て10年、28才になりました。様々
な経験をしましたが、これからが
私のスタート、はりきって仕事し
ています。

88年卒 高橋 則子

▼同級生の不明が目立ち、卒業し
てからの歳月が感じられました。
実際、年々と連絡をしなくなつて
しまった友人たちが増えていま
す。

89年卒 鴨下一恵

▼H9・9・7に第一子(男児)
を出産しました。名前は凌(りょう
う)に決定しました。これから子
育てが待っているけれど、がんば

同窓会担当より

平成十年度 練馬高校の現況

数学科 田口 隆

練馬高校同窓会会員の皆様には、各分野でご活躍のことと存じます。今年度、同窓会を担当しております田口です。微力ではございますが宜しく願います。

教員の異動について

新妻 絃先生(教頭・田無高校へ)
松原智子先生(物理・荻窪高校へ)
荒井 繁先生(化学・葛飾野高校へ)
佐藤弘康先生(化学・向島工業へ)
阿部匡彦先生(保体・武蔵高校へ)
小久保優先生(保体・北園高校へ)
平野元一先生(養護・ご退職)
の各先生方が練馬高校を離れ、また新たに多くの先生を迎えました。

教育課程の特色として

生徒一人ひとりの個性や適性を伸ばす教育課程で、選択講座は七十八開講され、一年生で二時間、二年生で十三時間、三年生で十八時間と総計三十三時間の選択ができます。このことにより①自分だけの時間割を作成することができ、②個性に合った選択をすることで、学ぶ意欲がさらに高められる。③様々な進路にあった選択科目が選べる。といったことがあげられます。また、特色ある講座として、「生活に生きる法律と経済」、「教養数学」、「教養生物I・B」、「地学IA」、「陶芸I」、「保育

・福祉」、「ビジュアルデザイン」、大学・専門学校・公務員志望のためにそれぞれ多くの講座が開設されています。

部・同好会について

二十六の部や同好会が活動しています。三十名の部員を擁するサッカー部、練馬区民大会で準優勝し、新人戦・関東大会予選とともに4回戦まで進んだ男子バスケット部、女子バレーボール部は春季リーグで2部進出を決めるなど、また、毎年練馬文化センターでコンサートを行っているブラスバンド部や演劇場が活発に活動し、天文台では天文部が観測を行っています。部員獲得に苦労しているクラブもありますがどの部も一生懸命に活動を続けております。

銀杏祭が九月十九日(土)、二十日(日)に行われます。この機会に足をお運びいただき、練馬高校をご覧になり、後輩たちを励ましていただければ幸いです。ご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。最後になりましたが同窓会の更なるご発展と諸先輩のご多幸をお祈り申し上げます。



同窓会クラス幹事

(一九九七年度)

組	1	2	3	4	5	6
男	早川 伸之 練馬区貫井 4-45-28	新保 智彰 杉並区和田 3-51-5-201	大石 宏之 練馬区光が丘 3-8-2-204	堀田 祐 練馬区旭町 1-33-22-1004	小久保一樹 練馬区光が丘 2-4-10-618	沢口 陽介 練馬区貫井 3-46-21
女	下村 綾 練馬区高野台 1-11-5-509	山田 都希 練馬区北町 8-30-4-206	木澤 恵美 中野区上高田 2-11-13	大澤ゆきの 練馬区東大泉 2-29-2	杉原弥恵子 中野区新井 4-15-16-301	林 清美 練馬区平和台 1-25-11-208

同窓会々員の情報収集に ご協力下さい!!

現住所の判らない会員の方がいらっしやいます。ご存じの方がいらっしやいましたら、返信ハガキか封書で、卒年・組・住所・氏名・電話番号をお知らせ下さい。よろしく御願致します。

原稿・写真大募集

クラス会・OB会等の写真・原稿(400字・800字)をお寄せ下さい。次回同窓会会報発行時に掲載致します。懐しい仲間との楽しい場面をお待ちしております。氏名・住所・卒年などを明記してお送り下さい。

つていきたいと思ひます。

90年卒 岡田 留美

▼来春(98・3月)、大学を卒業する予定です。就職も決り、これから新しい方向へ進んでいこうとしています。練高もこれから新しい方向へ向っていくことを期待しています。頑張ってください。

93年卒 安宅 太

▼今は高校の時よりも充実した毎日を送っております。毎日、楽しくて仕方ありません。今は100万円を貯めることに燃えております。

94年卒 山本 都

▼先日、練高の演劇鑑賞会で私の入っている劇団(まだ、研究生なのですが……)が公演しました。当日は在学中お世話になった松橋先生、佐藤弘康先生にお会いできて、とても懐かしかったです。でもまさか、このような形でお会いするとは……驚きました。今度は舞台の上の私を覗いていただけよう頑張ります!!

95年卒 元浜 桂子

▼1年間必死に勉強した結果、現在、大学に通っています。大学でもサッカー部に入学してサッカーを続けています。また暇なときには練高のサッカー部にてお世話になりたいと思います。頑張ってください。

96年卒 本間 謙悟

▼現在、予備校生で大学受験にむけて勉強中。

97年卒 垣内 寿文

寄付金御芳名

75		74				73						72		70				69				68				67			卒年
1	6	5	3	2	8				5	4	2	1	4	3	2	6	5	3	2	6	4	2	5	3	1	クラス			
森川透	三浦喜雄	黒井祐子	石井富美江	四宮光世子	廣岡章子	小田悦子	柳沼啓子	竹村早苗	寺澤久美子	上原進	鈴木雅文	藤城祐子	松本信昭	秋山祥子	岡田和代	高木純一	久山隆之	戸谷初代	山内良夫	三村光太郎	妙林由利	杉浦せきこ	田中真実	小林美恵子	皆川一太郎	小池忠憲	柴田治子	柳父かほる	堤和俊
姓 名																													

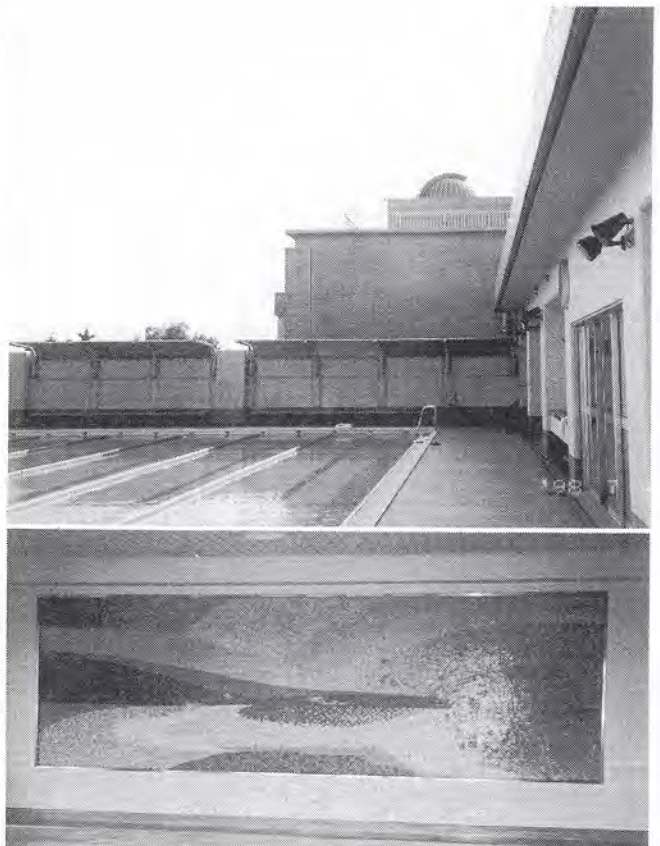
学校医	旧職員																80				79		78		77	76	卒年											
	4																5		7	5	4	5	7	7	5	6	4	6	6	5	3	2	5	2	6	1	5	5
岩崎輝二	渡辺義正	森杉多	友山登起子	鈴木一正	清水芳彦	小林汎	児島美智子	坂井哲夫	平沼成人	守田淑香	林香岐	小林健彦	長谷川洋一	水谷尚央	平田あずさ	岡林達郎	岩越康夫	大崎修司	小林恵子	松崎由紀	松尾律子	八幡和子	貫井三貴子	原田健史	窪寺伸浩	加藤佳美	菲沢明	外由美子	堀尾克彦	伊藤久雄	竹村信雄	姓 名						

返信ハガキを 書くときのお願ひ

名簿委員長 矢野 正弘

会計と名簿委員と2足のワラジを
はいて、更に名簿委員は小沢さんと
私の2人しかいない委員長を務めて
います。

名簿の管理や手順が軌道にのり始
めたので昨年よりは少し楽になって
います。そこでもっと楽になりたい
ので皆様に何点かお願いがあります。
ご協力下さい。



- (1) 住所変更などには必ず郵便番号を入れて下さい。調べるのに非常に多くの体力を使います。
- (2) 住所変更と共に電話番号も変更になると思いますが、差障りがなければ是非書いておいて下さい。住所の変更があつて電話番号の記載のないものは電話番号の欄から削除しています。
- (3) 添付の振込み用紙にデータが記載されているはずですが空欄があつた場合にも返信のハガキに書いてご返送下さい。
- (4) 読み難いであろう漢字などにはフリガナを振っておいて下さい。

以上、よろしくお願ひいたします。

事務局より

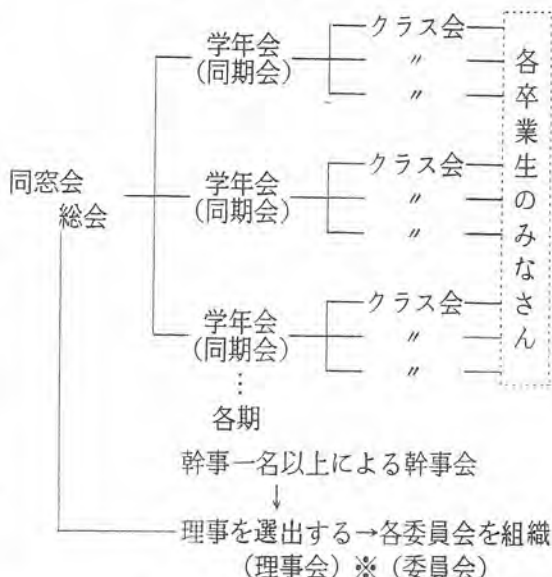
同窓会組織をまとめてみますと、右の図のようになります。本来はクラス幹事の中から各期の代表幹事を選び、さらにその中から理事を選ぶのですが、1990年度以前のクラス幹事が不明のため、このシステムでの同窓会運営が不可能になっています。したがって現在の同窓会は93年度の総会で理事に選出されたメンバーが継続して運営しています。本来ならば理事は持ち回りで行うのが望ましいと思われます。是非、多数の同窓生に総会に参加していただき、理事として活躍していただきたいと思います。

理事は以下のいずれかの委員会に所属し活動します。まだまだ人手不足で困っておりますので（例えば、今回は会長の私が会報の責任者でした）、少しでも手伝っていただける方は事務局までご連絡下さい。

◎総会委員会：総会開催の企画、運営について担当する。

◎名簿委員会：同窓会名簿の作成を担当する。

◎会報委員会：同窓会会報の作成を担当する。

同窓会組織略図**名簿委員会からのお願い！**

同窓会名簿の情報を、ダイレクトメール・商品勧誘・宗教活動等に流用することはお止め下さい。信頼関係を損なう恐れがありますので。

★同窓会事務局ではよりよい同窓会組織の維持発展のため、次の5項目の活動を考えています。

1. 5年に1度の同窓会名簿発行
2. 1年に1度の同窓会会報発行
3. 総会の開催（卒業生による運営に関する意見交換や意志決定の場。）
4. 同窓会総会後の懇親会（飲み食い会）開催。（尚、クラス会、同期会は、自主的に行って下さい。）
〔同期会の開催などには、事務局としても出来る限りの援助を致しますのでご一報下さい。〕
5. その他の事業の企画・運営など（可能性）。

同窓会協力者、募集！

同窓会事務局では、現状を同窓生諸氏にご理解していただき 今後の同窓会の発展を目指したいと願っています。まだまだ多くの協力者の援助を要します。都合のよい時だけで結構ですから、協力していただける方はご連絡を下さい。
（連絡係：三浦 喜雄）

事務局への連絡方法

新たに住所・連絡先が変更になったり判明した方がいましたら、必ずご連絡下さい。連絡先は、下記のところです。現在、事務局（練馬高校内）には専従者がおりません。総会の出・欠席や事務局への連絡は葉書または封書にてお願いいたします。事務局（練馬高校内）への電話での連絡は、ご遠慮下さい。

連絡先は 〒179 練馬区春日町4-28-25 都立練馬高校同窓会事務局です。

同窓会名簿・同窓会総会・同窓会理事会へのお問い合わせ

☆同窓会総会に関する連絡先：総会委員：近藤 邦夫（TEL 0423-45-3022）

☆同窓会名簿に関する連絡先：名簿委員：伊藤 久雄 〒179 練馬区春日町4-36-1

☆理事会への連絡先：連絡係：三浦 喜雄 〒272 市川市新田3-27-15 (Tel 047-379-5412)

会 計 報 告 書

繰越金 (内訳)

文京信用金庫	定期預金	¥ 4,089,082
文京信用金庫	普通預金	¥ 800,594
郵便局		¥ 295,170
現金		¥ 74,977
合 計		¥ 5,259,823

積立金 (元金)

文京信用金庫	定期預金	¥ 602,552
文京信用金庫	定期積金	¥ 300,000

97年度決算書

収入の部	支出の部
前年度繰越し 5,865,699	総 会 費 79,321
入 会 金 748,800	本部運営費 40,050
総 会 収 入 40,000	会報出版費 1,164,167
利息 収入 23,692	名簿出版費 0
寄 付 金 230,480	(名簿出版準備費)
雑 収 入 0	通 信 費 11,560
(1,042,972)	事務 費 1,305
	積 立 金 300,000
	雑 費 52,445
	(1,648,848)
合 計 6,908,671	次年度繰越し 5,259,823
	合 計 6,908,671

会計報告について

会計 矢野 正弘

まず初めに本年より新会計として一九七二年卒の宮坂由子(旧姓・浦野)さんにお手伝をお願いすることになりました。宮坂さんは学校事務に長年携っており(現役)最適任者であるので現金、通帳、印鑑などの保管と台帳をやって頂いております。

さて、本題の会計報告ですが特に今年は突出した出費もなく例年と特に変わったことはありませんでした。少し変化があったとすれば収入の部で正会員の入会金が1800円から3600円に変更になりましたので収支としては少し楽になりました。しかし、依然として収支のバランスは悪く残高が約60万円減っています。と言うことは60万円以上の収入が必要なのです。収入源で今後期待の出来るところは 1) 寄付金 2) 会報による広告掲載 3) 名簿の販売による収益 4) 名簿による広告掲載などです。今後是非皆様に協力をお願いいたします。最後に同封の振込用紙ですが、これは心ある人が自主的にご寄付をしやすいようにしたモノです。決して強制ではありませんし寄付以外の送金には(総会の会費など)使わないで下さい。よろしくお願いいたします。



編集後記

●夏のある日、母校へ会報用の写真撮影に行った。テスト前の土曜の午後にクラブ練習をしている十人の集団がいた。硬式野球部の人々だ。メンバー九人にマネージャー一人。淋しい様だが公立高校ではこんなものなのか。彼らにとっては良い青春の思い出となる事だろう。先生方にも数名お会いしてお話を伺った。平均年齢三十歳位だそう。新しい校舎に若い先生方、熱中時代にふさわしい舞台を持った後輩にジェラシーを感じた。

(七回生 近藤 邦夫)

●最近、久しぶりに生徒達とともにソフトテニス(昔の軟式テニスの事)で汗を流しています。昨年度より勤務先の高校で顧問になり、今年はヤル気のある一年生が入部してきたので、年を顧みず(小生は来年四十歳です)始めたわけです。初めてすぐに往年の勘を取り戻すことが出来、自分の体力・技術もまだまだ捨てたものではないと一人で悦に入っています。中年まさかりで仕事に追われる毎日ですが、これからもテニスでストレス発散を図って行くつもりです。

(十一回生 伊藤 久雄)

計 報

98年2月
第四代校長、加藤正春氏
が永眠されました。ご冥福
をお祈りいたします。

